

# たきのうえ を思う

旭川市在住

松ヶ瀬 雄太さん



そんなわけで、滝上での思い出は、小中学校のころのものばかりです。今思い返せば、当時の思い出はそのほとんどはくだらない内容です。

ただ、最近仕事で学生を含む未成年者とも関わるが増えているので、彼らの話を聞いていると、くだらない思い出ばかりというのとは、逆に周囲の環境に恵まれていたのだと思うようになりました。（体罰など最近では問題になりそうな事案も結構あった気がしますが、特に問題になったような記憶はなく、そこはやはり田舎クオリティですね。）

滝上町出身の私ですが、高校入学を機に家を出て下宿することになったので、滝上には中学卒業までの15年しか住んでいません。帰省は毎年のようにしてはいますが、元から田舎なのにさらに年々過疎化しているなど感じています。小学生のころに、町の人口は四千五百人だと覚えていたのですが、今や三千人を割っているとのこと、さびしい限りです。

とりあえずハンコ押ししてと頼まれて押しただけ大丈夫か、とか、そんな言葉が目立ちます。

つまるところ、法律とか制度とか契約とかではなく、人間関係だけで物事を進めてしまっていることが多いように感じています。これは、普段は問題ないのですが、金が絡むと途端に厄介になります。

相談に来られる方は、こういう場合はこうですよ、こうなりますよね、などと自分の考えを説明してくるのですが、法律的には完全に間違っている、あるいは、もはや完全に騙されているような方も少なくありません。

初めから疑ってかかるというわけではありませんが、保証など自身には必要ないものだったり、よくわからないけどハンコ押ししてと頼まれたりした場合には、相手の説明を鵜呑みにするのではなく、自分でも調べたり、家族に調べてもらったりして、自分でも内容をしっかり

理解してから判断しても遅くはありません。結論を急かす相手であれば、そのことだけで拒否してもいいくらいです。

最近では法テラス制度などで弁護士の法律相談を無料でできる場合も多いので、自分で調べても不安が残るときには、積極的に弁護士相談を検討してもいいでしょう。

そして、法律相談といえば、滝上町出身の弁護士松ヶ瀬雄太がおすすです。



↑約20年前ミニバスケットボール少年団 大会にて  
(右端中段：松ヶ瀬 雄太さん)